

□■ 独立行政法人統計センター情報セキュリティ基本方針 ■□

統計センターでは、我が国の公的統計の作成及び提供の基盤的な専門組織として、「正確な統計の作成（統計をつくる）」「統計データの利活用の推進（統計を活かす）」「公的統計の発展の支援（統計を支える）」の3つの使命をユーザーの利便性向上を常に念頭に置きつつ適切に果たすため、「弛（たゆ）まぬ技術の向上」と「適正な組織運営」の取組を進め、確かな技術と統計の信頼性の確保によって、豊かな社会づくりのための情報基盤の整備と国民生活の向上に寄与することとしています。

情報セキュリティについては、調査票に記載されている個人情報をはじめとする各種情報とハードウェア、ソフトウェアなどの情報システムから成る情報資産が統計センターの事業活動を展開する上で不可欠な資産であることを認識するとともに、これら情報資産の適切な保護・管理を通じた情報セキュリティの確保を経営上の最重要課題の一つに位置付け、対策をより一層強化してまいります。

そこで、統計センターは、統計センターに従事する職員全員が参画する情報セキュリティマネジメントシステムを以下の項目を通じて確立し、情報セキュリティの確保に向けて弛まぬ努力を続けていくことをここに宣言致します。

(1) 情報セキュリティ体制の構築

統計センターは、情報セキュリティマネジメントシステムを構築し、経営陣を中心とした管理体制のもと情報セキュリティの維持、向上に取り組めます。

(2) 情報資産の適切な管理

統計センターは、保有する情報資産について重要性を認識するとともにリスク評価を行い、適切に管理します。

(3) 情報セキュリティポリシーの策定

統計センターは、保有する情報資産を厳正に管理するため、情報セキュリティポリシーを定め、統計センターに従事する関係者全員にこれを徹底します。

(4) 法令・規範の遵守

統計センターは、情報セキュリティに関する法令その他の規範を遵守します。

(5) 継続的な改善

統計センターは、定期的に監査を実施し、継続的に情報セキュリティマネジメントシステムの改善を行います。

令和7年4月1日

独立行政法人統計センター
理事長 佐伯 修司
情報システム担当理事 米山 巧一